

全国学力・学習状況調査から見られる指導改善のポイント

小学校 国語

● 全国学力・学習状況調査の結果から

◆具体的な言語活動の中で、基礎的・基本的な知識・技能を適切に使うことに課題

例) A[7] スピーチの表現を工夫する

（宣誓が続く）
日本中に届けます。感動、勇気、そして笑顔を見せましょう。日本の底力、絆を。

宣誓。東日本大震災から一年、日本は復興の真っ最中です。被災をされた苦しくて心の整理がつかず、今も当時のことや、亡くなられた方を忘れない方がたくさんいます。人はだれでも答えるのが悲しみを受け入れることは、苦しくてつらいことです。しかし、日本が一つになり、その苦難を乗り越えられることができれば、その先に必ず大きな幸せが待っています。だからこそ、信じています。だからこそ、

結果は次のようにでした。

正答率 県 39.3%	無解答率 県 27.0%
----------------	-----------------

無解答を減らしたいですね。

→ ポイント1へ

設問 □の部分の表現は、話し手がどのような工夫をすることで、どのような効果を生み出そうとしていますか。その説明として最もふさわしいものを、あの1から5までの中から二つ選んで、その番号を書きましょう。

- 正答** 2 伝えたい内容を短い言葉で区切って並べることで、思いを明確にしようとしている。
5 言葉の順序をくふうすることで、聞き手に伝えたいことを印象づけようとしている。

児童の解答類型別の反応率を見てみると、……

解 答 類 型	反応率(%)	正答
2・5と解答しているもの	39.3	◎
2と解答しているが、5と解答していないもの	12.9	
5と解答しているが、2と解答していないもの	14.3	
上記以外の解答	6.5	
無解答	27.0	

分析結果と課題

- 比喩法・列挙法・反復法・擬声法・倒置法などの表現技法を区別した上で、それらの効果について適切にとらえることに課題があります。

例) B[2]二 目的や意図に応じ、必要な内容を適切に引用して書く

→ ポイント2へ

【編集会議での西村さんの意見】
見出しの「A いろいろな苦労をこえて」に合わせて、「ずかんの一部」の中から、小野さんの苦労が具体的に書かれている文を引用したほうがいいと思うわ。

【ずかんの一部】
～花火師の小野さんの声～
みなさんは、花火師が花火を打ち上げるまでにどのような苦労があるか知っていますか。わたしは、花火師のわざを身に付けるために、約10年もの期間をかけて修行をし、一人前になることができました。そのわざを生かし、安全に花火を打ち上げるために、毎回、準備から後片付けまで、いっときも気をぬくことなく取り組んできました。多くのみなさんに喜んでもらうために、結果は次のようにでした。

正答率
県 23.3%

正答 「わたしは、」「そのわざを」と解答しているもの

児童の解答類型別の反応率を見てみると、……

解 答 類 型	反応率(%)	正答
「わたしは、」「そのわざを」と解答しているもの	23.3	◎
「わたしは、」と解答しているが、「そのわざを」と解答していないもの	10.6	
「わたしは、」と解答していないが、「そのわざを」と解答しているもの	11.8	
上記以外の解答	39.6	
無解答	14.6	

分析結果と課題

- 花火師の小野さんの苦労が具体的に書かれている文を押された上で、2つの文のはじめの五文字を的確に書き抜くことができません。目的や意図に応じて、必要な内容を適切に引用して書くことに課題があります。
●A[3]一でも同じように、「文のはじめの五文字」を丸で囲む問題を出題したところ、正答率は33.7%でした。文そのものの定義について理解が不十分であるものと考えられます。

● 指導改善のポイント

ポイント1

具体的な言語活動の中で、表現技法について理解を深め、日常生活にも生かしていきましょう。

■スピーチの効果について交流し、様々な表現技法を工夫する学習活動を行いましょう。

- 目的や意図に応じ、自分の考えが明確に伝わるようにスピーチの構成や表現を工夫することは、国語科の学習のみならず日常生活においても重要です。
- 本問の正答以外の、選択肢1比喩法、選択肢3反復法、選択肢4擬態法・擬声法を用いて【選手宣誓の一部】を書き換え、表現の特徴についてとらえるようにしましょう。



選択肢1 「『比喩法』に書き換えてみましょう」

日本中に届けます。火花が散るような力と力のぶつかり合いを。



「～ような」「～みたいな」などのたとえは2年生では「スイミー」で学習します。



ポイント2

具体的な言語活動の中で、複数の内容を含む文や文章を分析的にとらえたり関連付けたりしながら、自分の考えを書く指導を行いましょう。

意図的に複数の資料から情報を選ぶ言語活動を位置付けましょう。

言語活動例：編集会議

書くこと

課題設定
取材 ア

構成 イ

記述 ウ・エ
B[2] 一・二・三

推敲 オ

交流 力

【例】

資料 A
資料 B
資料 C

自分の考え方の根拠となる複数の資料を集めます。

資料A+自分の考え方
資料B+自分の考え方
資料C+自分の考え方

中心となる考え方と関連付けて資料ABCから情報を選び、条件・目的に合うよう、自分の考え方を書く。

相手や目的、意図が明確な言語活動例（編集会議）

「目的や意図に応じて必要な内容を引用して書く」(B[2]二)では…

- 引用については、テーマや見出しなどに合わせて内容を選択したり、引用した内容が目的や意図に応じているか否かを判断したりすることができるよう指導しましょう。
- 引用する内容が全体の分量に比べて適切な量になるように、バランスを考えて書くことも指導しましょう。